



あいかわ 議会だより

第 161 号

令和元年5月15日発行

責任者 議会議長 小島総一郎
年4回発行・本号18ページ



愛川町児童合唱団「かえるの学校」のみなさん
(平成30年度農林まつり)

平成31年度当初予算を可決

P2

「観光・産業連携拠点づくり
事業基本計画議会検討会」

町長へ提言書・意見書を提出

P18

条例議案9件のうち8件可決・1件否決

P4



愛川町議会のHPも
是非ごらんください。

※町議会では議会だよりに使用する写真を
募集しています。
詳しくは5ページをご覧ください。

最後のページに議会クイズを掲載中

正解者の中から抽選で3名さまに商品券(1,000円分)を
プレゼントしています。皆様ふるってご応募ください!!

〈第1回3月定例会〉

2019 G I K A I

平成31年第1回愛川町議会「3月定例会」は、2月27日から3月22日まで、会期24日間（本会議開催日6日間）にわたり開催され、条例の制定及び一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算など、合計で22件の町長提出議案を審議し、うち21件の議案を可決しました。

本号では、これら「3月定例会」の内容を中心にお知らせします。



昨年開催された
クラシックアンサンブル

平成31年 第1回3月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
2	27	水	本 会 議	町長施政方針演説・提出議案の説明
	28	木	本 会 議	一般質問（6人）
3	1	金	本 会 議	一般質問（5人）
	5	火	本 会 議	補正予算、事件関係議案の個人総括質疑、討論、採決
	7	木	本 会 議	施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問委員会分割付託の決定
	8	金	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の補足説明・現地調査
	12	火	総務建設常任委員会	付託案件の現地調査
	13	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	14	木	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	15	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	18	月	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	22	金	本 会 議	付託案件の審査結果の委員長報告、質疑、討論、採決

自治功労者表彰

小林敬子議員、馬場司議員が、
会議員として通算15年以上在職し、地域の振興発展に寄与した功績により全国町村会議長会自治功労者表彰を受けました。



馬場 司 議員 小林 敬子 議員

《各会計予算額》

会 計 名		予 算 額	構成比	前年度比
一 般 会 計		124億1,000万円	53.4%	1.3%
特別会計	国民健康保険	51億4,100万円	22.1%	△0.7%
	後期高齢者医療	4億4,600万円	1.9%	3.2%
	介護保険	29億7,700万円	12.8%	1.1%
	下水道事業	13億2,700万円	5.7%	△0.2%
	小 計	98億9,100万円	42.5%	0.1%
企業会計	水道事業	9億4,500万円	4.1%	6.2%
合 計		232億4,600万円	100.0%	1.0%

総額232億4千600万円
2019年度当初予算を可決

○一般会計予算

（賛成全員）

○国民健康保険特別会計予算

○後期高齢者医療特別会計予算

（以上賛成11人、反対3人）

○介護保険特別会計予算

○下水道事業特別会計予算

算

○水道事業会計予算

（以上賛成全員）

※議長は表決に含まず。



当初予算の詳細については、スマートフォンやタブレットからでもご覧になれます。

左QRコードをご利用ください。

※広報あいかわ（平成31年4月1日号）のページに移動します。

会派構成員の変更

平成31年4月1日付けで、会派「新風あいかわ」から佐藤茂議員が異動し、無所属となったことにより、次のとおり構成員及び代表者が変わりました。

新風あいかわ

渡辺 基 議員（代表）

熊坂 弘久 議員

阿部 隆之 議員

平成31年第1回(3月)定例会 議決一覧表

●全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
町長提出第1号	愛川町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について
町長提出第2号	愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出第3号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出第5号	愛川町障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出第6号	愛川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出第8号	愛川町企業誘致等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出第9号	愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び愛川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出第10号	平成30年度愛川町一般会計補正予算(第5号)
町長提出第11号	平成30年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
町長提出第13号	平成30年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)
町長提出第14号	平成30年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
町長提出第15号	平成31年度愛川町一般会計予算
町長提出第18号	平成31年度愛川町介護保険特別会計予算
町長提出第19号	平成31年度愛川町下水道事業特別会計予算
町長提出第20号	平成31年度愛川町水道事業会計予算
町長提出第21号	町道路線の廃止について
町長提出第22号	町道路線の認定について

●意見が分かれた案件

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案の件名	新風あいかわ			愛政クラブ			公明党			日本共産党 愛川町議員団			みらい絆			議決 結果		
		佐藤	熊坂	渡辺	阿部	馬場	小倉	山中	佐藤	井出	岸上	井上	小林	鈴木	熊坂	小島			木下
		茂	弘久	基	隆之	司	英嗣	正樹	りえ	一己	敦子	博明	敬子	信一	崇徳	総一郎			眞樹子
町長提出 第 4 号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の 制定について	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	※	○	可	決
町長提出 第 7 号	愛川町町営斎場条例の一部を改正する条例 の制定について	○	○	欠席	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	※	●	否	決
町長提出 第 1 2 号	平成 3 0 年度愛川町後期高齢者医療特別会 計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	※	○	可	決
町長提出 第 1 6 号	平成 3 1 年度愛川町国民健康保険特別会計 予算	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	※	○	可	決
町長提出 第 1 7 号	平成 3 1 年度愛川町後期高齢者医療特別会 計予算	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	※	○	可	決

※議長は採決に加わりません。

条例議案

◎愛川町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定 (賛成全員)

「工場立地法」の改正に伴い、同法に規定する特定工場における緑地面積率及び環境施設面積率について、国の定める範囲内で、地域の実情に応じて条例により定めることができることとされたため、緑地面積率等を定める条例を可決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町税条例の一部改正 (賛成全員)

「地方税法」の一部改正に伴い、法人町民税の法人税割の税率を改正するとともに、軽自動車税の制度改正に伴う関係規定の整理等を行うため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

また、後期高齢者支援金等課税額に係る均等割額の見直しに伴い、所得の低い被保険者に対する保険税の軽減額を改定する一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町障害者医療費支給条例の一部改正 (賛成全員)

現行の「障害者医療費助成制度」は、身体及び知的障害者に対して、医療機関を受診した際に要した、「通院費」と「入院費」の双方を助成対象としていますが、精神障害者については、助成対象を通院費に限定しており、制度の充実を図る観点から、身体及び知的障害者と同様に、入院費も助成対象に加える必要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町営斎場条例の一部改正 (賛成5人、反対9人)

斎場という施設の特性を踏まえ、今後も適切かつ長期的な施設の維持管理を図るため、供用開始当初から無料としていた「町内住民等に係る火葬炉使用料」について、火葬に要する経費や近隣施設との均衡等を考慮し、火葬炉使用料を改定する一部改正条例を否決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町企業誘致等に関する条例の一部改正 (賛成全員)

産業振興と雇用機会の更なる拡大を図るため、

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 (賛成全員)

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、国家公務員の任免・身分保障などについて定める「人事院規則」が改正され、正規の勤務時間を超えて超過勤務命令を行うことができる上限に

ついて、国に準じて町の規則への委任規定を追加するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町国民健康保険税条例の一部改正 (賛成11人、反対3人)

国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用が不足することに伴い、受益者負担の公平性を確保し、財政健全化を図るため、国民健康保険税の税率を改定するものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町水道事業給水条例の一部改正 (賛成全員)

「学校教育法」の一部改正により、「専門職大学」の制度が新設され、専門職大学の前期課程を修了した者には、短期大学卒業者と同等の短期大学士の学位が与えられることから、技術管理者等の資格要件として短期大学に係る規定を有する標記の2条例について、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日



企業誘致のさらなる取り組みへ

「災害弔慰金の支給等に関する法律」及び「同法施行令」の一部改正により、現行3パーセントに固定されている災害援護資金の貸付利率について、国の定める範囲内で、地域の実情に応じて条例により定めることができることとされるなど、災害援護資金の貸付けに係る運用方法の見直しが行われたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成31年4月1日

◎愛川町企業誘致等に関する条例の一部改正 (賛成全員)

産業振興と雇用機会の更なる拡大を図るため、

補正予算

◎平成30年度一般会計補正予算(第5号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に3億1,765万5,000円を増額し、一般会計の総額128億3,181万8,000円とするものです。

主な内容は、投開票日

が当初予算編成時の想定より1週間早くなった県

知事及び県議会議員選挙

費や、利用日数の増加に

よる障害者施設通所交通

費助成事業費、障害者総

合支援法に基づく生活介

護や就労移行支援などの

利用件数の増加により給

付費が増加した障害者介

護給付・訓練等給付事業

費、昨年10月の台風24号

により被災した農業用施

設の災害復旧に係る助成

金である経営体育成支援

事業費などです。

◎平成30年度国民健康保

険特別会計補正予算(第

2号)

(賛成全員)

◎平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

(賛成12人、反対3人)

◎平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

◎平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(以上、賛成全員)

(以上、賛成全員)

(以上、賛成全員)



昨年の台風24号により大きな被害がありました

事件議案



◎町道路線の廃止について(賛成全員)

道路法の規定により、

一般交通の用に供する必

要がなくなった路線につ

いて、町道の廃止をする

ものです。

今回は、半原地内の1

路線を廃止しました。

◎町道路線の認定につ

いて、町道路線の認定を

するものです。

今回は、角田地内の1

路線を新たに認定しまし

た。

◎町道路線の認定につ

いて、町道路線の認定を

するものです。

今回は、角田地内の1

番号	件名	陳情者	付託先	審査結果
1	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書	大阪府豊能郡能勢町稲地128-3 日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子	-	机上配付

陳情のゆくえ

議会だよりの

写真を募集

町議会では、「あいかわ議会だより」の表紙や紙面に掲載する写真を募集しています。

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真などあな

たの写真で表紙等を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。

データの場合は、JPEG形式で、データ容量は2メガ以上5メガ以下

プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品のテーマ、その説明を添えて、データの

場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください

【随時受付】

【電子メールアドレス】

aikai@town.aikawa.

kanagawa.jp

【郵便送付先住所】

〒243-0392

愛川町角田251-1

愛川町役場議会事務局宛

■注意事項

・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。

・応募作品は、原則として返却しません。

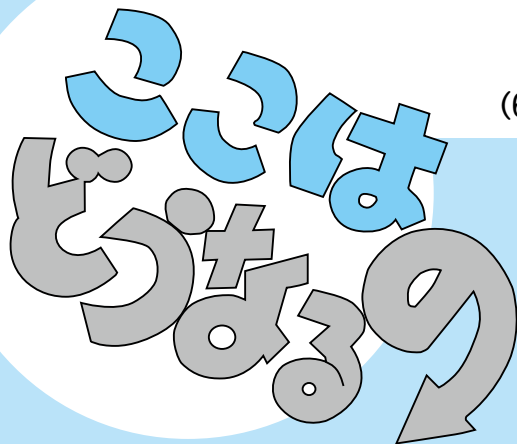
・編集委員会で協議した結果、応募作品を掲載できない場合があります。

・編集上、写真をトリミングする場合があります。

・採用された写真の著作権は、町に帰属します。

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙等に掲載します。希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。

・採用者への謝礼はありません。



一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。
詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。
なお、3月定例会の会議録は、6月中には備え付けができる予定です。

特殊詐欺の状況 録音装置の普及



小倉 英嗣 議員

問

年々増え続ける特殊詐欺の本町の状況、及び被害防止に有効な自動通話録音装置の普及状況について伺います。

本年も被害1件 すべて有償配布

町長 昨年は、600万円をだまし取られる被害が1件発生しました。平成30年度に購入した自動通話録音装置については、全て有償配布することができました。新年度では自動通話録音機能付きの電話機を新たに加え、被害の防止に努めていきたいと考えています。

有料広告の拡大 更なる取り組み

問

有料広告については、以前より強く要請してきたところですが、新年度の更なる拡大に向けた取り組みについて伺います。

公用車に企業広告 循環バスにも拡大

町長 これまでにも公用車への有料広告の掲載などを行ってきました。新年度の取り組みについては、公用車への有料広告の掲載を、マグネットシート of の全ての面を企業広告スペースとして活用できるように拡大していく予定です。

また、中津方面を運行する町内循環バス車両を更新する予定で、効果的な活用について検討していきたいと考えています。

〈その他の質問事項〉
台風24号による公共施設の被害について

ダブルケア世帯 今後の取り組み



岸上 敦子 議員

問

子育てと介護等を同時に行わなければならない「ダブルケア世帯」に対する今後の取り組みについて伺います。

包括的サポート 各部連携の強化

町長 育児と介護以外にも、障害福祉や母子保健、老老介護といったさまざまなケアが重なることも想定されます。各部所管の連携をさらに強化するなど、ダブルケアに伴う負担緩和を包括的にサポートできる体制について引き続き研究に努めていきたいと考えています。

骨髄移植ドナー支援事業

問

本町における骨髄移植ドナー支援事業のドナー登録に対する普及啓発の取り組み状況について伺います。

チラシなどを配布 ドナー登録会開催

町長 骨髄等提供のための通院や入院に対して、ドナーとなった町民及びドナーが勤務する事業所を対象に助成金を交付する新たな事業を今年度より開始しました。

町ホームページへの掲



ドナー登録の啓発を推進

載、健康推進課窓口や町内の各医療機関、健康フェスタあいかわなどにおいてチラシの配布を行い周知に努めています。

また、献血併行型ドナー登録会を開催し、より多くの方に骨髄ドナー登録していただき多くの方が移植を受けられるよう、制度の理解と普及啓発に努めているところです。

〈その他の質問事項〉
死亡時の行政手続きについて

町長 議会検討会での質疑応答を踏まえ、施設規模や配置等の再検討を行っています。提言書については内容の精査をしていきたいと考えています。

施設規模や配置等 再度検討精査行う

問 観光・産業連携拠点づくり事業計画に対し、議会では検討会を設置し、質疑を行いました。そして、議会としての提言書を町長に提出しますが、これを踏まえ、今後の計画等への方向性について伺います。

「観光・産業連携拠点づくり事業」

検討会質疑実施 計画への方向性

井上 博明 議員



問 水道事業について、洪水・浸水想定区域内の戸倉浄水場及び、急傾斜地崩壊危険区域内の塩川添浄水場における今後の災害対策等について伺います。

浄水場における災害対策

戸倉浄水場を優先 慎重にあり方検討

町長 戸倉浄水場については、新年度予算に浸水対策を検討するための設計委託費を計上しました。また、塩川添浄水場の

災害対策については、平成28年度に、馬渡橋の水道管の口径を大きくし、戸倉浄水場から半原地域に水を供給するバックアップ体制を整えました。こうしたことから、基

幹浄水場である戸倉浄水場の災害対策を最優先とし、将来の水需要の動向や施設の生産性を踏まえ、そのあり方について慎重に検討していきたいと考えています。
〈その他の質問事項〉
防災対策について



町の基幹浄水場である戸倉浄水場

子育て環境が激変 教育相談窓口拡充

阿部 隆之 議員



問 子育てをする親が育った時代と現代の子どもたちとの生活環境の大幅な変化から、カウンセラーの必要性はますます増加します。そこで、教育相談窓口の拡充の考えについて伺います。

体制の強化が重要 更なる充実を図る

町長 教育相談体制の一層の強化が重要です。今後とも町としては、現在の体制の点検、整備を進める中で、教育相談体制の更なる充実を図ってきたいと考えています。

人間ドック助成対象拡充

問 多くの民間企業では35歳以上の社員に対し人間ドックを実施しています。また、厚木市では国保に加入している20歳以上の方に対し年度内一人あたり一回の人間ドック助成を行っています。そこで、人間ドック助成の考えについて伺います。

国保制度安定図り 保険事業の充実へ

町長 国保制度は、平成30年度からは都道府県単位の広域化となり、県へ支払うための保険税に不足が生じている状況であることから、人間ドックの対象拡大は難しいところです。しかし、今後、制度が安定し、財政運営の健全化が図られれば、人間ドックの助成対象のみならず、様々な角度から、保健事業について充実していきたいと考えています。



健康維持するため
定期的な健康診断は重要です

地域防災計画 周知・取組状況



佐藤 りえ 議員

問

地区の特性に応じ住民が主体となつて計画する「地域防災計画」の地域への周知と取組み状況について伺います。

人材育成を推進 区長会通じ報告

町長 地域防災計画に「地区防災計画」を定めることができるようにしました。地域の防災活動の担い手となるリーダーなどの人材育成を進めるとともに、地区防災計画の必要性について、区長会などを通じ周知に努めていきたいと考えています。

消防団装備の充実と改善

問

平成25年12月の「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の成立後、消防団の装備充実についてどのように改善されたのか伺います。

防火衣一式を更新 耐性優れた手袋に

町長 町では、防火衣や防火帽等の一式について安全基準を満たす型に更新したほか、がれき等の排除活動を想定し、手袋を耐切

創性の優れたものへ変更しました。

消防団の装備の充実・改善に必要な措置を講じることは、消防力の向上、消防団員の安全を確保する重要な取り組みと認識しています。引き続き国の基準に基づき、装備の充実に対応していきたいと考えています。

その他の質問事項
マイキーブラット
フォーム構想について



地域のために活躍する消防団の支援を

県道田代・半原 狭あい区間対策



熊坂 弘久 議員

問

県道54号は、本町にとって大変重要な路線ですが、田代・半原区間は道幅が狭い箇所があります。そこで、本区間の狭あい道路に対する町の考えについて伺います。

課題多く拡幅困難 バスベイの設置等

町長 県によると、沿線には住宅などが密集し、課題も多いため、拡幅することは難しいとのこと。今後もバスベイの設置を含め、改善が図られるよう粘り強く取り組んでいきたいと考えています。

一周駅伝の集計等見直し

問

本年1月に行われた町一周駅伝競走大会は、町民みなスポーツの町宣言制定30周年記念大会にふさわしいものでした。

今後の運営における記録集計の短縮化に向けた新たな取り組み及び、現在のコース設定を見直す考えについて伺います。

現方式基本に短縮 コース変更は困難

教育長 記録集計業務に多くの時間を要することが課題のため、昨年の大



記録集計の短縮化に少しずつ工夫

会から中継所の職員がスマートフォンで記録票を撮影し、本部へ送信することで時間短縮を図るなど、改善に努めてきました。

現段階では、現在の集計方法を基本としながら、引き続き業務の正確な運営と、集計時間の短縮に向けた工夫に努めていきたいと考えています。

コース見直しについては、警察の指導もあり現時点では難しい状況です。
その他の質問事項
納税しやすい環境の整備について

議会だより

第161号

町長 生活保護基準が見直されたことに伴い、主要保護世帯の認定収入額に影響が生じてきます。引き続き、生活保護級地の見直しを要望していきたいと考えています。

認定収入額に影響 級地の変更を要望

問 就学援助制度について、生活保護基準の見直し等により、従来利用できていた児童・生徒が利用できなくなるなど、対象基準のさらなる見直しが求められますが、考えを伺います。

就学援助制度 対象基準見直し



小林 敬子 議員

問 ドメスティックバイオレンス（DV）と児童虐待は、深くかわり合っています。本町におけるDVと児童虐待の現状について伺います。

DVと児童虐待の現状

きたいと考えています。児童虐待の現状については、重篤なケースは発生していませんが、虐待のリスクがある児童に關し、37世帯の相談を受けています。

相談件数合計50件

許さない意識醸成

町長 本町におけるDV相談の件数については、平成31年1月末現在で、13件となっています。暴力を許さない社会意識の醸成に引き続き努めています。



暴力防止に県も取り組んでいます

町では平成30年度、妊娠・出産・子育て総合相談窓口を開設し、早期の虐待リスクの把握と未然防止にも努めています。〈その他の質問事項〉

税率の見直し困難 加入者の負担増に

町長 新たな減免制度を創設することは、これまで以上に法定外の繰入金を増やすことになることや、あるいは保険税率のさらなる見直し、加入者の皆さんに新たな負担を求めることにつながることから、難しいものと考えています。

国民健康保険税 多子世帯の減免



鈴木 信一 議員

問 高額となっている国民健康保険税の多子世帯に対する均等割額の保険税を減免する考えについて伺います。

坂本入口バス停安全対策



坂本入口バス停の安全対策

問 平成29年6月議会
で、厚木方面行き坂本入口バス停の安全対策について一般質問をしましたが、その後の経過を伺います。

厚木警察から意見 移設の方向で協議

民生部長 バス停に隣接する駐車場の一部をお借りし、待合所を拡張すること

で地権者にも了承をいただきましたので地権者と神奈川中央交通、町

の三者で準備を進めてきたところ、厚木警察から県道の直線部分にバス停を移設する方向で検討してほしいとご意見をいただきました。現在、神奈川中央交通において、桜台バス停方向の歩道上にバス停を移設する内部協議を進めているところであります。

〈その他の質問事項〉
投票率向上の取り組みについて

真名倉日比良野線 町道の有効な活用



山中 正樹 議員

問

あいかわ公園内を通る町道真名倉日比良野線は一度も供用されていません。玉すだれの滝トンネルや北岸道路につながり、鳥居原へのアクセスが存在しています。そこで、本町道の有効活用について伺います。

観光の効果はある 危機管理上で困難

町長 観光振興など効果はあるものと認識していますが、ダム管理事務所では、危機管理上の問題から一般車両の通行は困難であるとしています。

宮ヶ瀬ダム周辺地域振興

問

平成29年3月に策定した「観光産業連携拠点づくり構想」では、半原の既存ストックのネットワークが大切とし、宮ヶ瀬ダム等10ヶ所の地域資源が挙げられています。しかし基本計画は、跡地一点集中となりました。そこで、ダム周辺地域振興及び連携方策について伺います。

再生計画の認定 3月協議の予定

町長 町では、県と共に地域再生計画の認定を受



宮ヶ瀬ダムは大きな地域資源

け、また、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団が日本版DMOに登録され、観光地域づくりを推進しています。近隣自治体や他の地域資源との連携を図り、鋭意取り組んでいきたいと考えています。

総務部長 構想では商工業など7団体を明記し、体制構築を目指すとしています。3月に9団体で協議を進める予定です。

※DMOとは、地域の中心となって観光を盛り上げる団体です

用地需要の増加 新たな工業団地



木下 眞樹子 議員

問

内陸工業団地は、本町にとって重要な産業の拠点です。

そこで、今後も企業による用地の需要が見込まれる中、新たな工業団地等を整備する考えについて伺います。

役場の東側を検討 今後も他区域活用

町長 町では、役場庁舎東側の土地利用について検討を進め、アンケート調査等を実施しました。

今後とも地権者の理解が得られるよう努め、他の区域の活用についても研究をしていきます。

大型トラックの路上駐車



工業団地の交通安全確保へ

問

内陸工業団地内では、路肩に路上駐車をしている大型トラックを見かけます。道路幅が広いとはいえ、交通事故や交通渋滞の原因となります。

そこで、警察との連携体制や防止対策について伺います。

取り締まりの要請 企業への啓発強化

町長 内陸工業団地内の道路は、駐車禁止区域となっているため、厚木警察署において、定期的な

パトロールに努めているところです。

また、本町においても、町交通指導隊と厚木警察署との合同による違法駐車追放啓発パトロールを実施するとともに、昨年12月には、厚木警察署に、さらなる取り締まりの強化について要請を行いました。

今後とも、連携を密にし、取り締まりの強化や企業への啓発強化を推進していきたいと考えています。

町長 総合戦略で、若い世代の移住定住の促進や、若い女性が活躍できるまちづくりのほか、子育て世代に選ばれる町などの目標像を掲げています。今後も移住定住の促進に鋭意取り組んでいきます。

若い世代が活躍を 今後も鋭意取り組む

問 本町の人口は、1995年の約4万3千人をピークに、本年2月現在は4万659人となりました。そこで、移住定住促進のさらなる支援について伺います。

移住定住の促進 さらなる支援策



熊坂 崇徳 議員



空き家バンクの活用をお願いします
(上記 QR コードは愛川町の HP へ移動します)

空き家の状況と軒数

問 人口減少により空き家が多く見受けられ、空き家の解消は、人口対策や防犯・防災の観点からも、早急に対策を講じていく必要がありますが、空き家の状況把握について伺います。

また、地区別の空き家軒数について伺います。

平成29年316軒登録の17軒が解消

町長 町では、実態調査などを実施しており、

平成29年1月末現在で316軒の空き家を把握しています。そのうち、空き家バンクに登録された空き家が17軒あり、売買や賃貸があったことから、現在では299軒が空き家となっています。

環境課長 地区別では、愛川地区127軒、高峰地区47軒、中津地区125軒となっています。

個人総括質疑

本会議4日目の3月5

日は、補正予算議案、事件議案に対し、岸上議員、鈴木議員、小林議員、佐藤茂議員、木下議員の5名の議員が質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

【補正予算議案】

地域生活支援事業費増額

・増額の詳細について

保険者機能強化推進交付金

・交付金の詳細について

介護保険事業運営基金積立金増額

・大幅な増額となっているが、主な要因について
・積立金の現状と今後の見通しについて

【事件議案】

町道路線の廃止について

・廃止後の処分方法について

ほか

議会改革推進特別委員会

町議会では、開かれた議会を実現するため、本特別委員会を設置し、議会のあり方や、運営方法などについて調査を行っています。

前号では、第8回から第11回の会議で行われた協議事項の中間報告を掲載しました。

その後も会議を重ね、先進地である東京都多摩市に行政視察を行うなど、積極的に議論を行っています。



これまで様々な協議をしてきました



東京都多摩市へ行政視察

会議開催日	協議内容等
2月7日	・先進地行政視察 東京都多摩市 「議会による事業評価・施策評価について」
2月22日 (第12回)	・議会のICT化について ・図書室の充実について ・議会による事業評価の実施について ・政策討論(学習)会の開催について

会派代表質問

本会議5日目の3月7日は、町長の施政方針、条例、新年度予算議案に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。



公共施設の状況把握に努めています

新風あいかわ

(阿部 隆之議員)

問

早期に更新や改修等の必要性が見込まれる公共施設について

町長 各施設の耐用年数や耐震診断結果などのデータ整理とあわせ、屋根、外壁、使用設備などの劣化状況について、建築士による現地調査を行うなど、各施設の状況把握を進めているところです。

また、過去の改修の履歴や利用状況などについても、情報の集約を行っているところです。

こうしたハード面、ソ

町長 利用者ご本人はもとより、ご親族から大変喜ばれています。例えば、町外に居住されているご親族の方が週末などに親の面倒を見に来られた際、この制度がなかったときはごみを自宅に持ち帰っていたそうですが、制度開始後は安心してごみを出すことができているように、収集作業員が安否確認もあわせて行っている

問

ごみの戸別収集を実施した町民の声について

フト面の状況に加え、長期的な視点を含め、将来の施設のあり方や行政サービスのあり方についても、総合的に検討を行ったうえで、更新や改修等が必要となる公共施設、そしてその時期については、個別施設計画において取りまとめていると考えています。

みらい絆

(熊坂 崇徳 議員)

問

ふるさと納税の返礼品を今後も増やしていく考えについて

町長 現在、町内産のお茶や「愛ちゃん米」をふるさと納税の返礼品として新たに加える方向で検討しています。これらの返礼予定品は、寄附金額の区分や贈呈の内容などの詳細について、今後、連携協力事業者となる県



ふるさと納税の返礼品でもある愛川ブランド

問

フリーWiFiを公共施設や観光地等へ設置する考えについて

央愛川農協と協議していく予定です。

このほか、町内の旅館で利用できる宿泊券などを追加していきたいと考えており、その返礼品を提供いただける事業者と調整を図っているところです。

町長 本町では、文化会館や半原・中津公民館、愛川町民活動サポートセンターにWiFi環境を整備し、31年度では新たに役場庁舎1階ロビーに公衆無線LANを設置し、施設利用者のさらなる利便性向上を図ることとしています。

新たな施設や観光地等への整備にあたっては、その規模や構造のほか、使用場所により、導入する機器附帯設備に係る初期費用と、回線使用料や保守などのランニングコストが大きく異なってきます。

今後、無線LANの特性を生かしたさまざまな活用方策や効果とあわせて、設置・運用に係る経費、そして各施設を利用される方々のニーズなどの情報収集を行いながら、調査・研究をしていきたいと考えています。

問 「愛川準農家制度」を運用したことに
よる農業への今後の見
通しについて

町長 農地集積の支障とならない範囲で、10アール以下の小規模農地に限り、地域や他の農業者と良好な関係を保てること、農地を効率的で適正に利用できることなどを



最終年度をむかえる
愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

今後、維持管理経費が増加をしてきているほか、通夜や告別式を行わない火葬のみの利用者が増加傾向にあるなど葬儀の形も変容してきています。

今後も長期的な施設の維持管理を図るためには、供用開始当初から無料としていた町内住民等にかかる火葬炉使用料については、火葬に要する費用相当分をご負担していただきたいと思います。

問 温かい中学校給食の提供に向けた31年度の取り組みについて

教育長 周辺環境に与える影響について検証するほか、保護者や地域住民



2020年度の提供に向けて取り組んでいます

平成29年の人口が56人の社会増となるなど、成果が徐々に出ているものと認識しています。

町長 平成27年度から5力年の計画期間における目標や具体的な施策などを示す「愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、移住・定住促進をはじめ、子育て支援や教育環境の充実など、各種事業を積極的に展開しています。

この制度を運用することによって、小規模農地の借り受けが促進され、農地の遊休・荒廃化の解消や防止の一助になるとともに、意欲のある担い手の参入につながるものと期待しています。

町長 空き家対策をさらに推進するにあたり、建物の損傷や草木の繁茂など、不適正管理となつていく空き家への対処を行うとともに、不適正な空き家となる前に、有効的に活用していただき、良好な生活環境の保全等を図るといった側面から総

問 愛川町町営斎場条例の一部改正により、火葬炉使用料を改定する背景について

町長 愛川聖苑は、平成9年の供用開始以来22年目を迎え、経過年数とともに、維持管理経費が増

休日夜間の救急診療では、町内医療機関が実施する日曜当番医制度のほかに、厚木市、清川村と広域で共同運営している休日夜間急患診療所で、救急診療を行っています。

二次救急としては厚木市、本町の6つの病院が、基本的に入院が必要な救急患者の診療や厚木市メジカルセンターでの深夜や早朝などの診療を輪番で実施をしています。

また、学校における給食時間の確保など、学校現場における課題等についても懇談会の場において意見交換を行い、2020年度中の温かい給食提供を目指し、取り組みを進めていきたいと考えています。

愛政クラブ

(山中 正樹 議員)

公明党

(佐藤 りえ 議員)

日本共産党愛川町議員団

(井上 博明 議員)

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の、これまでの成果について

町長 平成27年度から5

要件として、農家ではない一般の方でも農地を借り受けることができる「愛川準農家制度」を創設しました。

問 空き家対策計画策定に伴う基本的な考え方について

合的な対策を講じていくため、「空き家対策計画」の策定を行うものです。空き家実態調査などの結果を踏まえ、本町の実態に促した対策をしていきたいと考えています。

問 救急診療体制の確保における具体的な取り組み等について

への説明を行うとともに、許可に必要な調査や関係書類の整備を行いながら、神奈川県との協議を引き続き進めていきます。

常任委員会での審査

条例議案や平成31年度当初予算の審議を、より詳細に行うため、各常任委員会では現地調査及び事業に対する質疑を行いました。その内容の一部を紹介します

総務建設常任委員会

「ポケットに愛川」 保守管理経費

問 事業の詳細について

答 町内への移住促進や交流人口の増加を図ることを目的に、動画や写真を中心とした観光地やイベント情報のほか、町の制度概要を体系的に掲載したスマートフォンサイトで、昨年4月に開設したものです。

問 昨年のアクセス数について

答 昨年度は合計で3万2,825件となっています。

なお、4月が1,229件で1月には4,254件とアクセス数が上がっていることから、「ポケットに愛川」が順調に浸透してきているものと感じています。

委員 本事業が広がることで、愛川町を知っていただき、さらに知名度が上がっていくことを期待しています。



活発な議論が行われました

あいかわ準農家制度 関係消耗品

問 経費の詳細について

答 例年多くの方が来場する「県立あいかわ公園つつじまつり」などのイベントに、制度の内容を紹介するチラシと、利用を呼びかける広告文が印刷されたパセリ・レタスなどの野菜の種を配布するために購入する経費となっています。

委員 チラシ等をうまく活用し、町民の方が利用しやすいような制度にしていき、遊休農地の解消に向け、さらに取り組んでいただくようお願いします。

教育民生常任委員会

モデル地区 健康づくり事業

問 対象地区を3地区追加したことで見込まれる効果について

答 これまで全11地区で実施しており、平成31年度は新規に3地区を加え、14地区で実施予定となっており、町の3分の2の地区で開催できると考えています。このことにより、さらに地域での健康づくりの輪が広がるものと考えます。

問 事業の今後の考えについて

答 無理なく活動が続けていけるよう、地区の皆様に準備をしていただくこととなります。

こうしたことから、毎年3〜4地区ずつ増やしていけるよう努力をしていきたいと考えています。

委員

たくさんの方が、自主的に自然な気持ちで参加できるような事業にしていただようお願いします。

キャリア教育推進事業

問 夢授業推進事業委託料の詳細について

答 夢授業は、平成30年10月に本町がホームタウンとなったSC相模原の選手やスタッフが、小・中学校の児童・生徒を対象に運動の楽しさを伝えるプログラムや職業講話等の出前授業を行うものです。

問 事業の詳細について

答 キャリア教育として、中学校1年生を対象に、職業講話を実施しており、弁護士や消防士、和菓子職人など、様々な方の講和を行っています。

委員 様々な職業の方から生の声を聞けるといのは、子ども達にとって非常に貴重な時間です。これからも期待しています。



田代運動公園を現地調査

討

論

本会議最終日の22日に、各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。その内容の一部を紹介します。

※議会における「討論」とは議案に対する「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言の事です。

反対

みらい絆
熊坂 崇徳 議員

議案第7号「愛川町町営斎場条例の一部を改正する条例の制定」について反対です。

愛川聖苑の歳出削減や行政区への補償金の見直しなど、やるべきことを行い、それでも財政が厳しくなった際には見直しも必要になると思います。

しかし、現状では、歳入全体の収入も増え、早急に改正をする必要はないと考えます。

反対

公明党
佐藤 りえ 議員

議案第7号に反対です。

今後、食料品等の値上げや、10月には消費税率の引き上げが予定されています。痛税感がもう少し和らいでから検討すべきと考えます。

また、町民の皆さんに対する周知期間が短かす

反対

日本共産党愛川町議員団
鈴木 信一 議員

議案第4号「愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定」について及び、議案第7号に反対です。

まず、議案第4号は国民健康保険税の4年ぶりの税率引き上げ改正ということですが、収入がなかなか増えない中で、低所得世帯にとっては大変大きな負担となります。よって反対です。

次に、議案第7号については、愛川聖苑は人生の終焉を迎えるにあたり、本町のまちづくりに貢献された町民の皆さんに対し感謝の気持ちをお返しする最後の場でもあります。在住町民の火葬炉使用料は、これまでどおり無料とすべきです。

賛成

新風あいかわ
熊坂 弘久 議員

全議案に賛成です。条例第7号について、愛川聖苑は、開設以来22年を経過しており、老朽化が進む中、将来にわたって施設を適切に管理していくためには、多額の経費が見込まれます。

こうした点から、受益者がその経費を負担する受益者負担の原則により、在住町民の火葬炉使用料の有料化については理解します。

一般会計予算においては、ハード面では、防災行政無線デジタル化整備事業費、消防力向上のため、消防ポンプ車2台の

更新、トイレ改修や照明などの学校施設整備事業費、さらに地域住民福祉の増進のため春日台公民館の耐震補強など、適切なものと認めます。

ソフト面では、シティセールスプロモーションである「ポケットに愛川」を活用したSNSによる愛川町のPRや、昨年度の東京新宿アルタに続き、大阪トンボリステーション、東名高速道路海老名サービスエリア等での動画放映は、その効果を大いに期待しています。

賛成

みらい絆
木下 眞樹子 議員

議案第7号以外に賛成です。将来の備えとして、公共施設整備基金へ1億円を、財政調整基金へ2億4,000万円の積み立てができました。子育て、健康、教育を重点に地域資源を活かしたまちづくりのための予算であり、これから我々世代が後期高齢者になったときにも困らないような、まちづくりを考えての予算であろうと理解しています。

人口減少が避けられない中、少しでも健康生活を送ることができるように、町民とともに考えて、予算を執行するよう望みます。

主要施策と予算案の概要で挙げられている「地域資源を活かしたまちづくり予算」とありますので、行政と住民の互いが信頼関係を大切にしたいだけくようにお願いします。



愛川聖苑

賛成 愛政クラブ 馬場 司 議員

全議案に賛成です。

歳入面では、地域資源を活かしたまちづくりのための予算とのことで、「総合計画後期基本計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、観光・産業連携等の施策を着実に推進し、なお一層住みやすいまちにするという予算編成は評価します。

しかし、このような時代だからこそ、住民サービスの低下を招かぬよう、しっかりとした財政運営が重要です。今後は

税収以外の収入源にも、さらに力を入れて取り組んでいただきたいと考えます。

歳出面では、すこやか親子健康診査等事業や子育て世代包括支援センターなど、結婚・出産・子育てが安心してできる町にするために、不足診療科目である産科、婦人

科、小児科等の充実にもしっかりと取り組み、町内で分娩のできる環境もつくっていくことが重要と考えます。

環境に配慮したまちづくりの推進では、生ごみ処理器の普及促進ですが、生ごみ処理器「愛川キエーロ」及び「生ごみ処理容器堆肥式・密閉式」の購入費助成額が10分の9に引き上げられ、ごみの減量化にやる気を見せてくれました。非常に高く評価します。

賛成 公明党 岸上 敦子 議員

議案第7号を除き、賛成です。歳入面では、景気の回復傾向を反映し、平成31年度予算における個人町民税は、昨年と比較すると、町税全体で1億4,000万円余りの増となりました。

個人町民税は、企業の業績向上を受け、雇用情勢の改善や賃金上昇による増収が見込まれるほ



昨年盛大に開催された宮ヶ瀬ダムナイト放流

か、法人町民税についても、税制改正による税率の引き下げなどの影響もある中で、国内景気の回復などにより、増収の見込みとなりました。

平成31年度は、「第5次町総合計画後期基本計画」が3年目で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が5年目を迎えます。町長は施政方針の中で、「町民の心を重んじ、常

に町民サイドに立つて物事を考え、迅速に実行する」ことを指針としながら、「全職員とともに、なお一層の研さんを積み、適時適切な対応を図っていく」と心強い思いを述べられました。

新年度、町税は増収の見込みですが、少子高齢化の進展に伴い、先の見通せない状況です。子育て、健康、教育を重点に

地域資源を活かしたまちづくりのための予算で、町民のための町政運営が実行されることを期待しています。

賛成 日本共産党愛川町議員団 井上 博明 議員

現在、本町が置かれている状況や社会経済情勢などから重点的取り組み課題として3つの柱が掲げられました。

1点目は「出会いから結婚・出産・子育てにわたる切れ目のない支援について」です。若い世代への結婚への希望をかな

えるきっかけとして、出会いのサポートをされてきた住民団体である愛川婚活支援センターの解散を受け、地域資源として定着しつつある宮ヶ瀬ダムナイト放流を活用し、新たに町単独で婚活イベントを開催するなど、工夫を凝らしている姿勢が認められました。

2点目は、「誰もが健やかにいつまでも活躍で

きるまちづくり」です。本町では、県が推奨する未病対策に加え、健康ポイント制度の実施や健康フェスタあいかわの開催など、さまざまな健康づくり施策が展開されています。

3点目は、「魅力があり、安全・安心な住みよいまちづくり」です。道路整備については、平山下平線整備を推進するとともに、新たに町道未改良路線拡幅改良工事等を実施するなど、生活道路の改良工事が進められています。

今後も厳しい財政運営が予想されますが、行政改革の推進については、さらなる努力を求めるとともに、財源確保については、国・県支出金などの特定財源の確保とともに、一層の未収金対策に取り組み、町民の負託に的確に応える持続可能な財政運営をお願いします。

意見交換会

町議会では、「町民に開かれた議会」を推進するため、次のとおり意見交換会を実施しました。貴重なご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。

町PTA役員との意見交換会

開催日

平成31年1月31日

場所

町福祉センター

3階会議室 13人参加

テーマ

■PTAとして活動する中、成果と課題について
■PTA役員から提案のあった今後の課題について

(1) 登下校の交通手段
(2) 今後の部活動
下記表のとおり意見・要望等の紹介をします。
詳細については町議会ホームページに掲載しています。

No.	意見・要望等要旨	当日の回答
1	両向地区では、通学距離が約4.5kmありました。子供たちのかばんの重さも6kgほどになり、学校まで約45分かかりました。坂が2つあり、雪や雨の日などは本当に大変です。また、両向地区の子供がバスに乗るためには、県道54号まで、一度、坂を下りなくてはならないため、大変です。親も子供たちもみんなスクールバスの導入を希望しています。	一昨年の6月議会で、このスクールバスについて、町に質問をしています。 今のところ、町としては導入をする考えはないという回答でした。今後、導入を検討する際には、学校の統廃合等と合わせ検討していくとの回答でした。 現状において、最も遠い通学距離となっているのは、愛川東中学校では坂本地区からの2.5km、愛川中学校は川北地区からの3km、愛川中原中学校では上三増地区からの3.5kmとなっているとのことでした。
2	虐待については、表面化しない場合もあると思いますが、虐待が疑われる家庭があった場合、町として実態調査はどのように行っているのか。	虐待の早期発見については、定期健診等に来られた時にアザ等の確認や成長が遅れていることなどの理由で確認する方法があります。また、保育園等では体操するときなどに、子供の様子を保育士が観察していますので、そこで変化が見られた場合は、町が保護者に聞き取りを行い、県の保健福祉事務所などと連携しながら、早期の対応を行っている状況です。

第10回議会クイズの答えと当選者

前号の議会クイズは13名の方から応募をいただきました。正解と当選者は次のとおりです。

〈正解〉

問1 ②趣旨了承

問2 ①議会検討会

問3 ③5月10日

〈当選者〉

福田 喜久江 様

榎本 静香 様

中溝 桂子 様

議会事務局職員異動のお知らせ

4月1日付

(新)議会事務局副主幹

高橋 愛

(税務課副主幹)

3月31日付 退職

青木 洋子

(議会事務局主査)

次回定例会のお知らせ

次回、6月定例会は次のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、5月27日に開催する予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

町ホームページでもご覧になれます。

令和元年第2回6月定例会日程（予定）

月	日	曜	会議名
6	5	水	本会議（提出議案の説明）
	6	木	本会議（一般質問）
	7	金	本会議（一般質問）
	10	月	総務建設常任委員会
	11	火	教育民生常任委員会
	14	金	本会議（総括質疑、討論、採決）

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

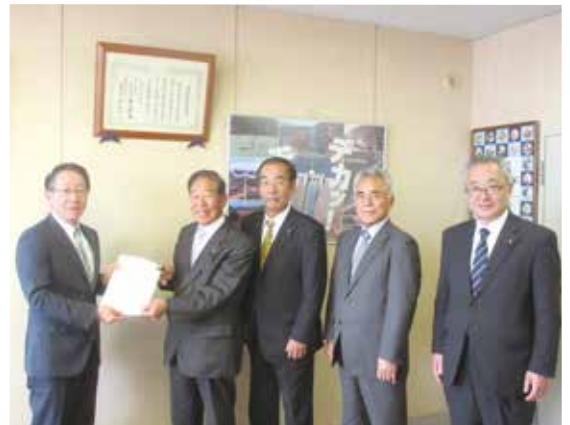
Tel 046 - 285 - 2111
(内線3792)

観光・産業連携拠点づくり事業基本計画議会検討会 町長へ要望書を提出

町議会では、本町が計画している「横須賀水道半原水源地跡地」を観光と産業が連携した拠点の一つとして整備を進めていくこととしている「観光・産業連携拠点づくり事業」について、昨年7月に検討会を立ち上げ、他市への行政視察や調査、町に対する質疑を行い、議論を重ねてきました。そして、今回、町に対する提言・意見をまとめあげ、3月22日に、小野澤町長へ提出しました。

観光・産業連携拠点づくり事業基本計画 提言書（要旨）

- 1 各地域の資源を十分に活かしながら、必要機能の充実に努め、町全体に賑わいが波及する取り組みについて実施すること。
- 2 町民全体からの意見集約を行い、分かりやすく説明する機会を設けるなど町民との合意形成を図ること。
- 3 計画が具体化し事業規模が明らかとなった際には、事業全体のスケジュールを整理し、事業計画について明示すること。
- 4 将来の税負担や財政負担とならないよう、収入と収益、費用対効果等を十分に考慮したうえで、第三者機関を設置し調査するなど、安定的な経営となる計画とすること。
- 5 施設の管理運営については、ブランディング・観光・地域商社等の機能を充実させる新たな体制を構築すること。



小倉会長から小野澤町長へ要望書を提出

第11回 議会クイズ

問1 平成31年度当初予算の総額が232億4,6000万円で可決しましたが、そのうち一般会計予算はいくらでしょうか？

- ① 4億4,600万円 ② 51億4,100万円
③ 124億1,000万円

問2 平成31年度、新たに公衆無線LAN（フリーWi-Fi）が設置される公共施設はどこでしょうか？

- ① 文化会館 ② 役場庁舎1階 ③ 健康プラザ

問3 平成31年1月に議会と意見交換会を行った団体はどこでしょうか？

- ① 町区長会 ② 町PTA役員 ③ 民生委員児童委員協議会

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想等をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 5月31日（金）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局 宛

●ファクスの場合 046-286-5021

●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp ☆正解と当選者は次号で発表します。

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



あいちゃん
©愛川町

編集後記

平成最後の3月定例会では、平成31年度の当初予算が審議され可決されました。他にも多くの議案を審議していく中で、意見や要望等を行いました。

定例会以外では、PTA役員との意見交換会の実施や、観光・産業連携拠点づくり事業基本計画議会検討会で要望書を町長に提出しました。

今号は令和元年初の議会だよりになります。新しい元号となり、引き続き開かれた議会を目指し、読みやすく親しみやすい議会だよりしていきます。

広報広聴常任委員会

委員長 熊坂 崇徳
副委員長 阿部 隆之
委員 岸上 敦子
委員 鈴木 信一
委員 佐藤 茂
委員 佐藤 茂
委員 山中 正樹
委員 木下 眞樹
委員 小林 敬子
委員 馬場 司